

市展

第14回亀山市美術展目録

会 期 平成31年2月2日(土)～2月10日(日)
午前10時～午後5時（最終日は午後4時まで）

会 場 亀山市文化会館大ホールロビー
亀山市中央コミュニティセンター

主 催 亀山市
後 援 亀山市芸術文化協会、公益財団法人 岡田文化財団
協 力 公益財団法人 亀山市地域社会振興会

目 次

○入賞作品紹介・審査評

日 本 画..... 1

洋 画..... 3

写 真..... 5

書 7

彫刻・工芸..... 9

○特別出展.....11

○いが・こうか・かめやま 美術展交流作品.....12

○出展作品一覧.....14

○第 14 回亀山市美術展について19

○入賞作品紹介・審査評

日本画



市長賞
「朝露」生駒 清子



議長賞
「初秋野メロディー」東川 廣子



教育長賞
「美しい日本」片岡 松雄



芸術文化協会会長賞
「楠平尾笹百合里山」 駒田 嘉代子



岡田文化財団賞
「もったいない」 今田 雪峰

審査評

どの作品も全体的にレベルが高くなってきているように感じます。受賞作品以外の入選作品のなかにも優れたものが多数あり、見応えがある作品が多かったです。作品に対して真摯に向き合っていることが感じられます。ただし、部分に偏りすぎて説明的になり、少しバランスが悪くなっているものもあります。絵で何を伝えたいのかを熟考して制作にあたるとより良い作品になると思います。

市長賞の「朝露」は、朝露と花をよく見て素直に表現されているとても良い作品だと思います。作者の受けた印象が、そのまま絵画的に表現されており、品格のある作品に仕上がっています。そして、淡い雰囲気の中に、花の緊張感があり、情感がよく伝わってきます。

議長賞の「初秋野メロディー」は、心乱れず、一生懸命さが伝わってくる見応えのある力作です。

教育長賞の「美しい日本」は、桜と天守閣がマッチしたバランスの取れた作品に仕上がっています。石垣の表現をもう少し工夫するとより良い作品になると思います。

芸術文化協会会長賞の「楠平尾笹百合里山」は、山の静寂さが伝わる優しい作品です。

岡田文化財団賞の「もったいない」は、光に照らされて、ふっくらとした桃の表現が感じられる美しい作品です。

日本画部門審査員 岩田 隆 櫻井 拙朋 水谷 芙蓉

洋画



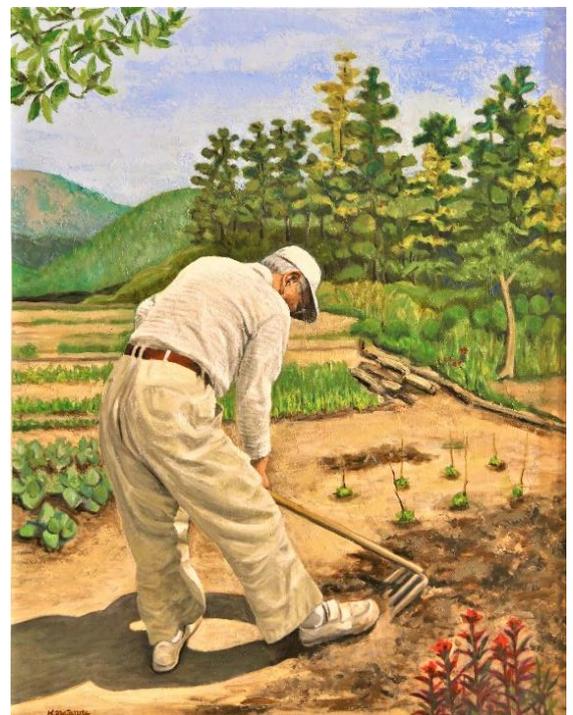
市長賞

「FACE・続」藤縄 正博



議長賞

「思い出」原 君子

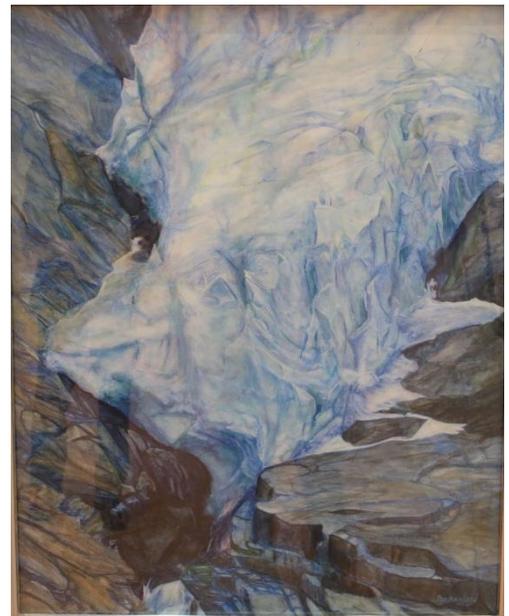


教育長賞

「大地と共生」松村 弘志



芸術文化協会会長賞
「陽炎」 澤田 清隆



岡田文化財団賞
「氷河」 中西 勝

審査評

今回の美術展作品は、水彩画やパステルなど表現方法も多彩で一つ一つが丁寧に描かれており、描き手が絵の主題に向き合うことで、素直にその距離が近く感じられる作品が多くみられました。また、画面への構成を巧みに行っている作品ばかりですが、わざとらしさを感じさせない点もレベルの高さを感じました。

市長賞の「FACE・続」は、材木をモチーフにしたユニークさがあります。平面的に材木をとらえて絵作りがされており、丸太が前後に見えるリズムが美しい作品です。

議長賞の「思い出」は、画面の大きさが絵の作品とフィットしており、作家性を感じる作品です。

教育長賞の「大地と共生」は、完成度が高く、自分と絵の距離が近く真摯に描かれている作品です。

芸術文化協会会長賞の「陽炎」は、画面の中にもう一つの画面が作られており、走馬灯のようなものが描かれ、時間の流れや過去からのつながりが丁寧に描かれた作品です。

岡田文化財団賞の「氷河」は水彩画の透明感があり、かつ、重量感もある作品です。

洋画部門審査員 倉岡 雅 野田 眞章 村田 仁

写真



市長賞
「泣かないで」伊藤 隆



議長賞
「水中遊泳」阿部 充博



教育長賞
「そこに在るもの」宮崎 理徳



芸術文化協会会長賞
「田植えを待つ」 普賢坊主



岡田文化財団賞
「眠りの桜」 森崎 進

審査評

賞を分けること自体が難しいほど、レベル的には大きな差はなく力作ぞろいでした。プリントもきれいな作品が多かったです。どういう風に人を引き付けるかという点を工夫してもらえると、より一層素晴らしい作品になると思います。

市長賞の「泣かないで」は、見せ方のアピールの仕方が素晴らしい作品になっています。構図、アングル、シャッターチャンス、色彩の強さがうまく組み合わさって、表情、迫力がよく出ています。

議長賞の「水中遊泳」は、人のバランスと白くまの構図バランスがおもしろく捉えられています。撮る前の作者のこう見せようという意識が表れています。

教育長賞の「そこに在るもの」は、見落としがちな風景を自分の視点でこう見せようという心象的な捉え方が良かったです。白黒にしたことによってそれがより強調されています。白いマットも作品と合っています。

芸術文化協会会長賞の「田植えを待つ」は、田植えの頃の季節感を、かえるを入れながらうまく捉えています。レンズの選択もこの作者はうまいです。縦位置の奥行き感も出ています。

岡田文化財団賞の「眠りの桜」は、闇に浮かぶ桜を光の扱い方でうまく捉えている作品です。

写真部門審査員 服部 辰美 松原 豊 山口 政宣

岡田文化財団賞

「空海詩」 櫻井 花莚



芸術文化協会会長賞

「与謝野晶子の歌」 安藤 佑珠



審査評

昨年より、作品数は減少したものの、書の様々なジャンル（漢字・調和体・仮名・刻字）の作品が一堂に会し、この地域の書の伝統文化の広がりと内容の豊かさを感じます。今後は幅広い年齢層の出品を期待しております。

市長賞の「黄庭堅詩」は、インパクトがあり、墨量が充実し、そして白黒がはっきりとした作品です。つながりが一貫しており線のびやかで動きがあります。また、落款も充実しており堂々とした作品です。

議長賞の「雲竜風虎」は、造形的にも優れた作品であり、刻字の技法を最大限に活かした力作です。

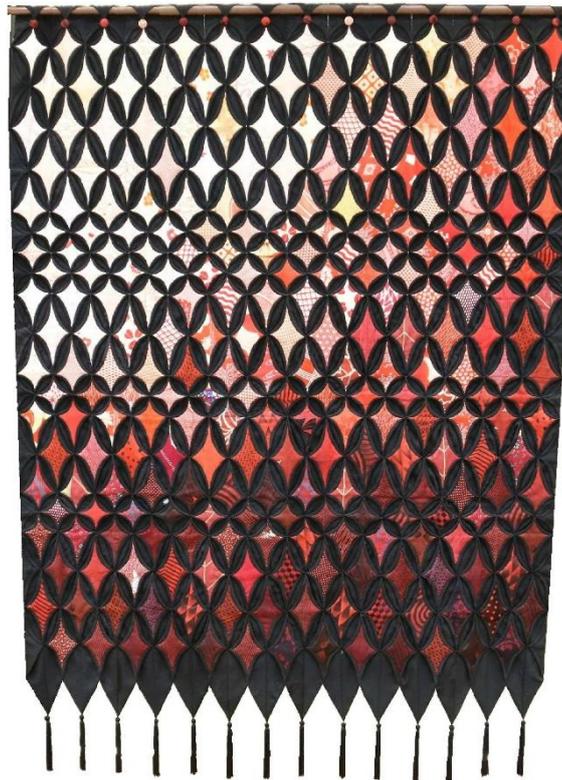
教育長賞の「百人一首」は、線のびやかで構成に優れ充実した作品です。

芸術文化協会会長賞の「与謝野晶子の歌」は、行間が美しく、すっきりと流れのある作品です。

岡田文化財団賞の「空海詩」は、運筆自在で抑揚があり、今後に期待できる作品です。

書部門審査員 小川 匪石 服部 青洞 水谷 紅楓

彫刻・工芸



市長賞

「Tsunagu」小倉 一子



議長賞

「絆II」小坂 洋子



教育長賞

「紅白の粘土で『球体』遊び」今井 正寿



芸術文化協会会長賞
「とおくとおく」 山田 風雅



岡田文化財団賞
「加太里山風景」 伊藤 登美子

審査評

平成最後の市展にふさわしい力作が並びました。市長賞は日本文様を代表する七宝のリズムを赤と黒のデザインで美しく仕上げ、とても素晴らしいタペストリーになっています。陶器は、技術力も高く、確たるコンセプトを持って、かわいく、楽しく、美しい世界を見せてくれました。動物の今にも動き出しそうな姿には目を奪われます。新しい年号になる来年の亀山に向けて飛躍する力とエネルギーを感じられる作品が多かったです。

市長賞の「Tsunagu」は、七宝・ダイヤモンド・赤・黒・日本文様・美しいものを一枚の画面に構成しており、見る者を惹きつけて離しません。パッチワークで黒から赤へのグラデーションで美しく紡ぎあげた優秀作品です。

議長賞の「絆Ⅱ」は、釉薬と粘土の違う3つの花器に、細かな点状の象嵌を釉薬で行うなど見どころの多い作品です。

教育長賞の「紅白の粘土で『球体』遊び」は、大小組み合わされた球体のまとまりや、注ぎ口など細かなアイデアが活かしている作品です。

芸術文化協会会長賞の「とおくとおく」は、木っ端を用いて牛を表現し、フォルムとしても手慣れた作品に仕上がっています。

岡田文化財団賞の「加太里山風景」は、ハチの巣の形に、加太の森の住民たちの思いを語りかけているような優秀な作品です。

○特別出展



冬化粧

中村 晋也（亀山市名誉市民）

制作 昭和 57 年（1982 年） 協力 公益財団法人中村晋也美術館

日本の一番寒い季節。山野には真っ白な雪が降り積もり、まるで化粧でもしたような冬らしい風情となってきました。そんな季節だからこそ旬のおしゃれを取り入れた装いで、冬のお出掛けを少しでも華やかに楽しみたいという女性たちの気持ちは、時代が移っても変わらないものかもしれませんね。フード付きのジャケットにヒールの高い編み上げブーツ。流行のおしゃれを身にまとい、少しだけ大人の女性の仲間入りを果たせた少女の、凛とした立ち姿に、冬を耐え抜く力強さと、春を予感させる静かな華やぎが感じ取れる作品です。

（参考 広報かめやま平成 31 年 2 月 1 日号）

〇いが・こうか・かめやま 美術展交流作品
(甲賀市)

平面部門 市展賞



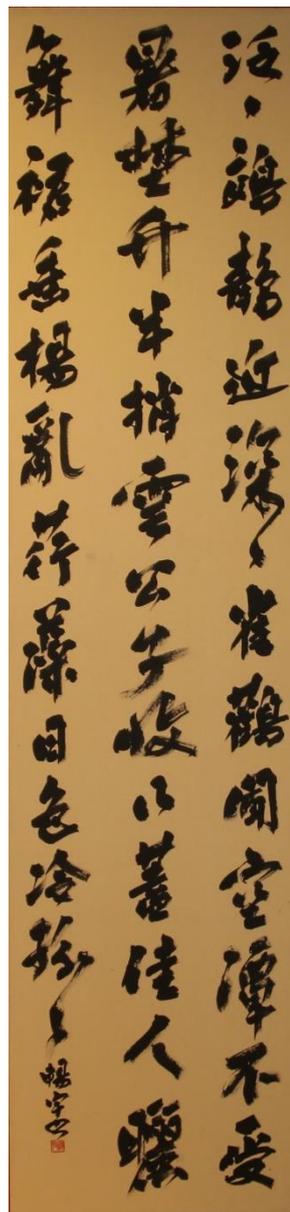
写真部門 市展賞



工芸・立体部門 市展賞



書部門 市展賞



(伊賀市)

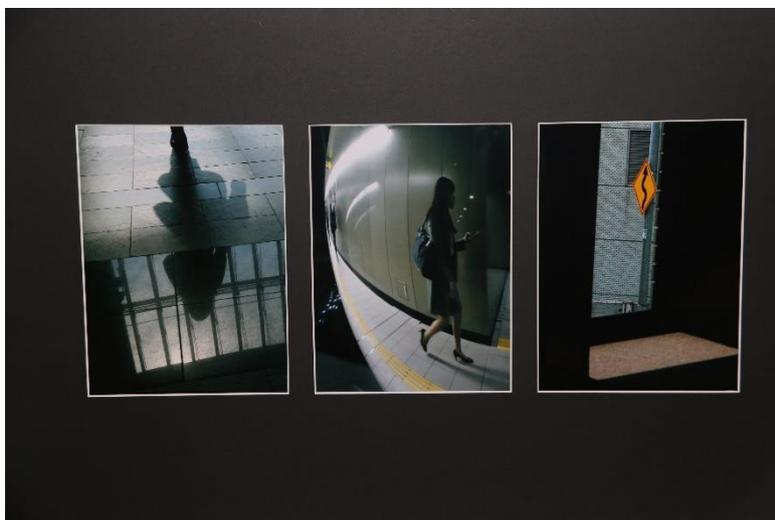
絵画部門 市展「いが」賞



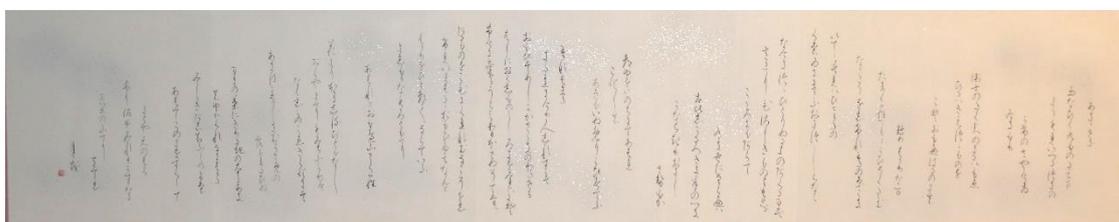
彫塑工芸部門 市展「いが」賞



写真部門 市展「いが」賞



書部門 市展「いが」賞



○出展作品一覧

【日本画部門】

(敬称略)

入賞・選名	作者名	題名	住所
市長賞	生駒 清子	朝露	羽若町
議長賞	東川 廣子	初秋野メロディー	みずほ台
教育長賞	片岡 松雄	美しい日本	関町泉ヶ丘
芸術文化協会会長賞	駒田 嘉代子	楠平尾笹百合里山	楠平尾町
岡田文化財団賞	今田 雪峰	もったいない	鈴鹿市
奨励賞	日當 優子	棕	みずほ台
入選	村山 弘峰	普門寺	天神四丁目
〃	仲村 春水	雪中薔薇	鈴鹿市
〃	古川 賢司	布気、皇館社参道	みどり町
〃	石河 溪峰	常夜灯	北町
〃	谷川 理子	ゲット	鈴鹿市
〃	櫻井 弘之	群向日葵	野村三丁目
〃	作江 輝舟	昇り鮎	みどり町
〃	栗本 薫	里山みちくさ	川合町
〃	朝熊 之文	鵜礁	川合町
〃	上原 史行	旧伊勢航空門	川合町
〃	太田 幸子	市内生コン社	和田町
〃	松田 純一	錦秋	野村三丁目
〃	片岡 弘子	ちょっと一休	関町泉ヶ丘
〃	小坂 誠二	鐘馗	布気町
無鑑査	佐野 恵子	ビオラ	南崎町
〃	古籟 敬廣	「早春の安曇野」(北アルプス)	川崎町
審査員	櫻井 拙朋	ソニアリンゴ	津市
〃	水谷 芙蓉	奥入瀬	桑名市
〃	岩田 隆	想う	鈴鹿市

【洋画部門】

(敬称略)

入賞・選名	作者名	題名	住所
市長賞	藤縄 正博	FACE・続	野村一丁目
議長賞	原 君子	思い出	田村町
教育長賞	松村 弘志	大地と共生	栄町
芸術文化協会会長賞	澤田 清隆	陽炎	加太神武
岡田文化財団賞	中西 勝	氷河	野村一丁目
奨励賞	田口 眞佐子	夜景	上野町
入選(入賞候補)	木村 みどり	秋宵の卓上	布気町
"	林 正夫	何処へ	アイリス町
"	水谷 和則	サン・ロナン教会 (プルターニュ地方ロクロナン)	関町小野
入選	石谷 長生	池のある風景	東御幸町
"	坂上 てる代	穴虫の郷にて (亀山市辺法寺町)	四日市市
"	小池 勇	トライを決める	本町三丁目
"	山下 紀恵	最期の地点	みずほ台
"	田中 香	天空の叫び	辺法寺町
"	長谷川 千香子	穏やかな日の午後	関町富士ハイツ
"	倉田 晴華	私の好きな庭	和田町
"	服部 裕	ファミリー	羽若町
"	額額 エツ子	堂	四日市市
"	斎藤 政子	クスコ石段	鈴鹿市
"	所 啓子	株杉	上野町
"	伊藤 志緒	沖縄の海	東丸町
"	橘 喜代美	きれいな赤 (カナダの公園にて)	鈴鹿市
"	中原 みゆう	夏の日	鈴鹿市
"	中村 美紀	ゆめ	本町四丁目
審査員	野田 眞章	古代の華	鈴鹿市
"	倉岡 雅	波切にて	津市
"	村田 仁	Echo	愛知県春日井市

【写真部門】

(敬称略)

入賞・選名	作者名	題名	住所
市長賞	伊藤 隆	泣かないで	菅内町
議長賞	阿部 充博	水中遊泳	みずほ台
教育長賞	宮崎 理徳	そこに在るもの	津市
芸術文化協会会長賞	普賢坊主	田植えを待つ	加太神武
岡田文化財団賞	森崎 進	眠りの桜	加太向井
奨励賞	西村 幸子	無病息災	井田川町
入選	織部 好博	ナイスキャッチ	関町富士ハイツ
〃	井上 英勝	それいそげ	太岡寺町
〃	小坂 一	Haruka みらいへ	布気町
〃	馬路 光一	愛、故に	安坂山町
〃	米村 善広	あら きたわよ	津市
〃	滝本 麻須美	家路	関町坂下
〃	滝本 洋一	日の出前	関町坂下
〃	安藤 明	役目を終て	椿世町
〃	笠井 俊夫	夏日	関町坂下
〃	村田 芳男	愛犬家	関町新所
〃	谷 明	庭園の秋	野村三丁目
〃	伊藤 隆彦	なかよし	鈴鹿市
〃	藤村 和昌	母さんもな～がいのね	みずほ台
〃	尾崎 里美	ひと休み	辺法寺町
〃	井上 アヤ子	順番待ち	みどり町
〃	森嶋 克美	秋桜を楽しむ	関町泉ヶ丘
〃	藤崎 善教	燦燦と	関町市瀬
〃	服部 清和	ニッコウキスゲの丘	能褒野町
〃	岡田 昭重	冬の公園	関町会下
〃	丸橋 久光	豊作	関町会下
〃	西川 喜賀	夏大好き家族	関町福德
〃	豊田 典子	初環雪	菅内町
〃	豊田 康文	淑女	菅内町
〃	水野 晴輝	舞姫 (姉・妹)	両尾町
〃	谷口 初太郎	時空に輝いて	住山町
無鑑査	早川 新一	求愛	みずほ台
審査員	山口 政宣	桜花餐猿	桑名市
〃	松原 豊	磯部	津市
〃	服部 辰美	ニューボーンフォト	名古屋市

【書部門】

(敬称略)

入賞・選名	作者名	題名	住所
市長賞	竹田 清章	黄庭堅詩	栄町
議長賞	平田 英也	雲竜風虎	野村一丁目
教育長賞	堀田 花	百人一首	東丸町
芸術文化協会会長賞	安藤 佑珠	与謝野晶子の歌	椿世町
岡田文化財団賞	櫻井 花菫	空海詩	井尻町
奨励賞	畑中 花影	惲格詩	鈴鹿市
入選	桜井 昇	如是我聞	野村一丁目
〃	篠原 蕙風	李山甫詩	下庄町
〃	川上 春琴	寒山詩	菅内町
〃	加藤 紅華	寒山詩	住山町
〃	山本 青蘭	島崎藤村の詩	みどり町
〃	菅生 洋子	井上陽水の詩	アイリス町
〃	打田 亮子	杜甫の詩	鈴鹿市
〃	安国 比沙子	谷村新司の詩	みどり町
〃	堀内 千恵子	林逋の詩	みずほ台
〃	梅林 香堂	欧陽脩詩	西町
〃	高橋 慶水	茨木のり子の詩	みどり町
無鑑査	菅生 游里	芭蕉の句	みどり町
〃	豊田 真苑	偶然欲書	菅内町
〃	薦 皓月	王軒詩	鈴鹿市
審査員	小川 匪石	福祿寿	津市
〃	水谷 紅楓	范成大の句	桑名市
〃	服部 青洞	飛華	津市

【彫刻・工芸部門】

(敬称略)

入賞・選名	作者名	題名	住所
市長賞	小倉 一子	Tsunagu	高塚町
議長賞	小坂 洋子	絆Ⅱ	布気町
教育長賞	今井 正寿	紅白の粘土で『球体』遊び	羽若町
芸術文化協会会長賞	山田 風雅	とおくとおく	鈴鹿市
岡田文化財団賞	伊藤 登美子	加太里山風景	鈴鹿市
奨励賞	西川 るみ子	孫の親衛隊	川合町
入選	川嶋 浩一	愛猫ケンちゃん	関町小野
〃	井上 一男	粉引草花紋花入	阿野田町
〃	古川 宏	焼締伊賀壺 (自然釉)	名古屋市
〃	谷口 秀文	耳付花入	鈴鹿市
〃	堀川 峰男	魚紋象嵌水指し	鈴鹿市
〃	竹森 實紀雄	焼締菊水三耳小壺	名張市
〃	中尾 公子	日月	津市
〃	櫻井 良文	融合① (コラボレーション) ～日本文化 (信楽土・穴窯) とアメリカ 文化 (インディアンの水差し) ～	栄町
〃	川上 りか	溢れる潤れる	関町富士ハイツ
審査員	稲垣 克次	まなざし	鈴鹿市
〃	清水 潤	萬古黒角文壺	四日市市
〃	六谷 春樹	遠い街' 18	鈴鹿市

甲賀市

賞名	作者名	題名	住所
平面部門 市展賞	濱浦 敦子	I know who I am	滋賀県湖南市
工芸・立体部門 市展賞	中西 つさ子	花車 (和紙ちぎり絵)	滋賀県甲賀市
書部門 市展賞	長谷川 暢宇	袁宏道詩	滋賀県甲賀市
写真部門 市展賞	小谷 博司	天空の人々	滋賀県甲賀市

伊賀市

賞名	作者名	題名	住所
絵画部門 市展「いが」賞	石川 勉	いつか花咲く日まで	名張市
彫塑工芸部門 市展「いが」賞	小島 憲二	伊賀焼扁壺『岩清水』	伊賀市
写真部門 市展「いが」賞	牧戸 勲	ビルの一隅	伊賀市
書部門 市展「いが」賞	前川 重孝	百人一首のうた	伊賀市

○第 14 回 亀山市美術展について

《第 14 回 亀山市美術展出展状況》

部 門	応募数	入選	無鑑査	審査員	特別出展	展示作品
日本画	20	20	2	3	0	25
洋 画	24	24	0	3	0	27
写 真	31	31	1	3	0	35
書	17	17	3	3	0	23
彫刻・工芸	15	15	0	3	0	18
合 計	107	107	6	15	0	128

※ 第 1 回 亀山市美術展(平成 17 年度)以降、同部門で市長賞を 2 回受賞された方は 5 年間無鑑査となります。

※ 彫刻・工芸部門には、第 9 回 亀山市美術展より陶芸を含みます。

※ 入選者数に、入賞者数（奨励賞を含む 6 賞）を含みます。

《審査員及び運営委員》

審 査 員

【日本画部門】 岩田 隆・櫻井拙朋・水谷芙蓉
 【洋画部門】 倉岡 雅・野田真章・村田 仁
 【写真部門】 服部辰美・松原 豊・山口政宣
 【書部門】 小川匪石・服部青洞・水谷紅楓
 【彫刻・工芸部門】 稲垣克次・清水 潤・六谷春樹

運 営 委 員

【日本画部門】 宮崎観峰
 【洋画部門】 三谷耕介
 【写真部門】 平野 武
 【書部門】 安藤清舟
 【彫刻・工芸部門】 後藤正博

※目録氏名は敬称を略しました。

《会期中スケジュール》

◆作品講評

日 時 平成 31 年 2 月 10 日（日）午後 2 時 30 分 ～ 午後 3 時 30 分
 会 場 亀山市文化会館 作品展示会場

